

ちばだいい プレス

CHIBADAI
PRESS

千葉大学
広報誌

2022

VOL.

59

SPRING



特集

対談 千葉大学特別栄誉教授 藤田 誠 × 千葉大学長 中山 俊憲

これからの時代を担う学生の皆さんに伝えたいこと

学生生活サポートマップ 2022

千葉大学 OBOG インタビュー

研究室訪問



CHIBA UNIVERSITY

藤田 誠

千葉大学特別栄誉教授
東京大学大学院工学系研究科教授



誰もがニューノーマルを模索している時代、イノベティブな研究が世界で認められ、研究の魅力や海外での研究活動、幅広いテーマについて、中山俊憲

(ふじた・まこと) 東京大学大学院工学系研究科教授。千葉大学工学部卒業。千葉大学大学院工学研究科修士課程修了。東京工業大学工学博士。相模中央化学研究所、千葉大学、分子科学研究所、名古屋大学などの勤務を経て、2002年より現職。2018年、ウルフ賞化学部門受賞。千葉大学特別栄誉教授、東京大学卓越教授、分子科学研究所卓越教授。

中山 俊憲

千葉大学 学長



新年度を迎えた今、千葉大学のOBであり、られている藤田誠教授をゲストに迎え、コロナ禍をどう考えるべきかなど、学長と語り合っていました。

(なかやま・としのり) 千葉大学学長。山口大学医学部卒業。東京大学大学院医学系研究科修了。研究専門分野は免疫学、アレルギー学。海外研究所や国内大学勤務を経て、1998年に千葉大学大学院に助教授として赴任。教授、副学長、医学部長などを歴任し、2021年4月より現職。

世界に通用する画期的な研究でウルフ賞を受賞

中山 千葉大学では、「輝かしい未来を牽引する世界に冠たる千葉大学へ」を掲げ、グローバルな人材育成やイノベティブな研究開発の実現に挑戦しています。分子の自己組織化という画期的な研究でノーベル賞の前哨戦ともいわれるウルフ賞の化学部門賞を受賞された藤田先生は、まさに千葉大生が目指すべきお手本であ

ると考え、新入生が入学するこのタイミングで対談の場を設けさせていただきました。

藤田 大変光栄です。私自身、千葉大学で学び、研究者としてお世話になり、特別栄誉教授という称号もいただき、母校のお役に立ちたい気持ちがありました。学生時代には、こんな立派な応接室に招かれる日が来るとは想像もできませんでしたが(笑)。

中山 藤田先生には、2020年6月に開催した千葉大学の卓越大学院プログラム「革新医療創生CHIBA卓越大学院」でも講演し

ていただきましたね。ご活躍は存じ上げていましたが、お会いしたのはこのときが初めて。とても穏やかで真摯に研究に向き合っておられるという印象を持ちました。

藤田 中山学長は、大学を統括する立場ですが、免疫学の研究者としても活躍されてきた方なので、同じ生命現象に関する研究者同士で相通じる部分があるという印象でした。

中山 このときの講演は、学生自身が企画して各分野の第一人者を招く講義科目「卓越教養特論」の一環として実施されたもの。つ

まり、藤田先生は学生が話を伺いたいと思う研究者だということに他なりません。ウルフ賞を受賞したのは、分子の構造解析を飛躍的に効率化できる「結晶スポンジ法」を開発されたことが評価されているんですね。

藤田 分子構造の解析にはX線を使うのですが、分析するための結晶をつくるのが難しく、X線解析誕生以来、100年にもわたる課題となっていました。私が開発した結晶スポンジ法は、この課題を解決する新しい結晶化技術ですが、千葉大学で助手を務めて

いた1980年代の終わり頃に着想した金属と有機分子の自己組織化についての基礎研究がベースになっています。ウルフ賞はその頃の基礎研究が評価されました。千葉大学は私にとって研究の原点だと思っています。

一度でも感動を味わうとやめられないのが研究

中山 今回の対談で、藤田先生には研究の魅力や研究に対するスタンスといった点についてお話しできたいと思っています。研究の醍醐味を感じるのはどんなときでしょうか。

藤田 研究には感動の一瞬があって、いったんこれを味わってしまうとやめられなくなります。山登りで例えれば、山頂に到達したときに味わえる達成感、目の前に広がる別世界。そういう高みに立ったときの何ともいえない感覚が研究の醍醐味だと思います。

中山 同感です。自分だけが知っているという喜びには中毒性がありますね(笑)。何かを発見したり成果を上げたりするには、能力も必要です。タイミングもありますが、真摯に研究と向き合っていれば必ずチャンスはあります。先生は以前、「研究は我が子」とおっしゃっていましたね。

藤田 千葉大学で助手を務めていた当時、初めて金属の自己組織化という概念を発見した時期に娘が生まれたのですが、研究も子どもも育てていく責任があるという点で共通していると思います。育てている過程で急に扱いが難しくなったり、気づかないうちに想定外に成長していたり、後から考えると、育てているつもりが、実はこちらが育てられているという面もあって、そんなところも似ているなと感じています。

「信念を貫け」という言葉で自信を取り戻す

中山 千葉大学では、2020年からグローバル人材育成プログラ



今後は、これまでの研究成果の
社会実装に挑戦してみたい
と考えています

ム「ENGINE」を実施しており、学部生も大学院生も留学が必修となっています。現在は新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン留学を実施していますが、藤田先生ご自身の留学体験や海外での研究の意義についてお話しください。

藤田 私は学生時代に留学する機会がなく、研究者として初めて海外に行ったのが30代後半です。当時は金属の自己組織化についての概念がなかなか理解されず、周囲からの評価が芳しくありませんでした。そんなときにある国際会議で、著名な海外の先生から「きみがフジタか、会いたかったよ」と声をかけられました。国際的なスター研究者が、当時は駆け出しの無名研究者だった私に興味を持ってきていたのは本当に嬉しかったですね。その縁で、フランスのストラスブール大学の研究室に半年間、滞在する



ことになりました。

中山 実際に行かれてみていかがでしたか。

藤田 私がフランスで所属していた研究室では、学生が研究しやすい環境を与えたうえで自主性に任せていて、こんな運営方法もあるんだなと感銘を受けました。帰国後は自分の研究室にもそのスタイルを取り入れています。また滞在先の教授から「周囲を気にせず信念を貫け」という言葉をもらい、失いかけていた自信を取り戻すことができました。

中山 研究において信念を貫くのは重要ですね。迷わず信念を貫いたからこそ、藤田先生のこの成果があるのだと思います。私は座右の銘は「全力で走れ」なのですが、そこにも通じるように思います。

藤田 どのような研究でも全力で取り組むことは重要ですね。当然、全力でやることは苦勞が伴うのですが、目指す感動の喜びを知っていれば、全力で取り組むことが苦しくありません。学生の皆さんもそうした感動を味わってほしいと思います。

コロナ禍でも学生が思う存分学べる環境を整備

中山 海外留学のもう一つの重要な意義は、自分を知ることだと思います。私は28歳から31歳まで米国の国立癌研究所に留学しましたが、世界のトップレベルの研究者と共同研究するなかで、かなわない部分もある一方、自分の得意な部分にも気づきました。私は手先が器用なので、それを発揮すれば研究に貢献で



学生にはグローバル社会で
活躍できるリーダーに育ってほしいので
しっかり環境整備を続けていきたい

大学の私の教え子たちも、卒業論文や修士論文を見る限り、コロナ前に比べて見劣りしない研究をしてくれています。環境を整え、学生を信頼すれば、やるべきことを実行してくれるということを再確認しました。

アフターコロナに備えてエネルギーを貯めよう

中山 藤田先生は結晶スポンジ法の研究で大きな成果を上げられ、ご自身の研究は一段落されていると思いますが、今後についてはどのようにお考えですか。

藤田 30代で始めた独自の研究が成果を見たという点では、一応の終止符は打てたと思います。65歳になるので一線から退くことも考えたのですが、2019年に東京大学の卓越教授という称号をいただき、特例雇用で10年間の猶予ができたので、次のステップとして、これまでの研究成果の社会実装に挑戦してみたいと考えています。

中山 それは楽しみですね。千葉大学でもIMO(学術研究・イノベーション推進機構)という機関を立ち上げ、産学連携や社会実装への道筋を探る取り組みをしています。藤田先生が先頭に立って挑戦する姿を見せてくれるのは、千葉大生にとっても参考になるのではないかと思います。最後に、学生に向けてメッセージを頂戴できますでしょうか。

藤田 今日の対談で、千葉大学が学生のために優れた環境を整えていることがよくわかりました。コロナ禍で海外留学ができないという不便はありますが、千葉大学の環境を活用して、存分に研究に打ち込んでください。コロナが収束したときに、ここで貯めたエネルギーが大きな活力となってくれるはずですよ。

中山 貴重なお話をありがとうございました。学生にはグローバル社会で活躍できるリーダーに育ってほしいという思いがあるので、今後もしっかり環境整備を続けていきたいと思っています。

特集 学生生活 サポートマップ 2022

学生生活をサポートする西千葉キャンパス内の施設やウェブサイトをご紹介します！
各施設、感染対策を施してご利用をお待ちしています。
学部や学年を問わず、どんどん活用してください。



総合学生支援センター

- 1 イングリッシュ・ハウス
- 2 留学生課留学支援室
- 3 ピアサポート6団体「ふれあいの環」
- 4 アクティブ・ラーニングゾーン

学生支援プラザ

- 5 学生支援課
- 6 学生相談室
- 7 就職支援課

8 附属図書館／アカデミック・リンク・センター

附属図書館／アカデミック・リンク・センター

平日 8:30~22:30(授業期間)
土日祝日 10:30~18:00(授業期間)
※期間によって異なります。附属図書館ウェブサイトより最新の情報をご確認ください。
附属図書館では学びのコンセプト「アカデミック・リンク」のもと、グループ学習も独り学習もできる多様な学習空間、紙や電子のコンテンツ、学習相談デスクなどのサポートを提供しています。またウェブサイトにある読みものや動画、相談窓口を通じて、皆さんの学習をオンラインでも支援しています。
<https://alc.chiba-u.jp/>



総合安全衛生管理機構 保健管理棟

平日 8:30~17:15
学生・教職員の定期健康診断を行っているほか、健康相談、メンタルヘルス相談、応急処置、病気の初期治療と外部医療機関の紹介、保健指導や健康教育を行っています。日々健康に生活を送れるようサポートしますのでお気軽にご相談ください。
<https://hschome-gw.hsc.chiba-u.jp/>



健康診断受けてね!

9 総合安全衛生管理機構 保健管理棟

10 インフォメーションセンター

10 インフォメーションセンター

平日 9:30~15:30
キャンパスの案内や大学オリジナルグッズの販売などを行っています。松韻(しょういん)会館の1階にあり、西千葉駅から徒歩3分の好立地。本学の学生・教職員に限らずご利用いただけます。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。
https://www.chiba-u.ac.jp/general/publicity/post_42.html



総合学生支援センター



1 イングリッシュ・ハウス

平日 9:00~18:00
リラックスした雰囲気の中で言語に触れ、学ぶことができる場所です。教員による個別レッスン、学生アシスタントと練習ができる英会話セッション、また、毎月開催される様々なイベントを通じて、国籍や学年、学部を越えた多くの人と交流できます。
<https://www.chiba-u.ac.jp/englishhouse/>



留学生課留学支援室

平日 9:00~17:00 (留学相談 10:00~12:00, 13:00~16:00)
留学生課留学支援室では、留学に関する相談を受け付けています。千葉大学が主催している全学募集プログラムや、協定校へ交換留学をする海外派遣留学プログラムの他にも、気になることがあれば、ぜひ留学相談を予約してください。予約は留学生課留学支援室ホームページからどうぞ。(オンラインでの相談も可能です。)
<https://www.ryugaku.chiba-u.jp>



3 ピアサポート6団体「ふれあいの環」

平日 16:30~18:30
※感染対策のため開館時間を制限していますが、メールでの対応も行っています。気軽にお問い合わせください。fureainowa@gmail.com (「ふれあいの環」学生代表) 学生が学生を支援する活動を行う6団体により組織されています。学生と学生、学生と教職員が相互にふれあい、イベントなどを通じて総合的な人間力をゆっくりと身に付けていくための場所です。詳しい活動内容については、ぜひウェブサイトをご覧ください。
<https://www.chiba-u.ac.jp/volunteer-center/>



4 アクティブ・ラーニングゾーン

平日 8:00~20:00
机や椅子を整備しており、学生が授業の空き時間などを利用して、予習や復習、ディスカッションなど、自由に利用できる空間になっています。



学生支援プラザ



5 学生相談室

5 学生相談室 平日 9:00~17:00

学生の修学・進路・就職・生活・人間関係など、学生生活にかかわる問題について、なんでも相談できます。困ったとき、悩んだときはお気軽に「学生相談室」にお越しください。
<https://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/consultation/index.html>



7 就職支援課

7 就職支援課 平日 8:30~17:15

就職支援課窓口では、四季報・各種試験問題集・業界研究などの就活関連本の貸出しを行っているほか、OBOG名簿の閲覧ができます。さらには、就職ガイダンス・企業担当者と直接話ができる就職イベントの開催、専門のキャリアアドバイザーによる個別就職相談を受け付けています。お気軽にご利用ください。
<https://www.chiba-u.ac.jp/careercenter/index.html>



きっかけは東日本大震災。農業と太陽光発電を 組み合わせた営農型太陽光発電を実践

千葉エコ・エネルギー株式会社代表取締役

馬上丈司さん

日本で初めての公共学の博士号を取得したのち
千葉大学発のベンチャーを起業した
千葉エコ・エネルギー代表の馬上丈司さん。
会社で取り組んでいることや地域への思い、
学生に向けたメッセージなどを
語っていただきました。

ソーラーパネルで発電され
たエネルギーを充電できる
超小型EV(電気自
社用の超小型EV(電
気自動車)。災害時
は移動電力との
ほか、地域の移動
電力としても活用
する予定。

馬上丈司(はがみ たけし)
千葉エコ・エネルギー株式会社代表取締役。千葉大学人文
社会科学部研究科公共研究専攻博士後期課程修了。2012年、
千葉大学特任講師時代に学生3人と共に千葉エコ・エネル
ギーを設立し、再生エネルギーによる地域活性化事業や営
農型太陽光発電に携わり、有識者としても各方面で活躍中。

再生可能エネルギー普及のため 研究ではなく起業を選択

—千葉エコ・エネルギー株式会社はどのような会社
ですか。

馬上 もともとは再生可能エネルギーに関するコンサル
ティングを行うベンチャー企業として、2012年に設
立しました。設立当初は、再生可能エネルギー全般に
関する日本国内の導入状況やポテンシャルを調べたり、
導入を希望する事業者を支援したりといった業務が
中心でしたが、現在は、農地の上部空間に太陽光パ
ネルを設置して、農業と太陽光発電を同時に行う「営
農型太陽光発電」に力を入れています。自社で農場を
運営するほか、導入コンサルティングも行っています。

—会社を立ち上げた経緯を教えてください。

馬上 私は千葉大学で公共政策を学び、博士号を取
っていますが、博士課程の最終年に東日本大震災と、
それに伴う福島第一原子力発電所の事故が発生しま
した。当時の私の研究は、地方自治体のエネルギー政
策に関するもので、2030年に原子力がエネルギーの半
分を占めることを前提としたものでしたが、それが根
底から崩れてしまった。再生可能エネルギーの重要性
について意識したのはそれがきっかけです。博士号取
得後は、千葉大学で特任講師の任に就きましたが、研
究者のままでは再生可能エネルギーを世の中に広め
るのが難しいと感じ、思い切って事業として取り組
もうと考えました。

自社事業として農業にも参入し 営農型太陽光発電を運営

—会社の強みは何でしょう。

馬上 4つあります。1つめは、私自身が博士号を取得
していることもあり、研究や調査に強いということ。国
や自治体、企業からの信頼を得やすいという点で、他
のベンチャーと比べても大きな差別化要因です。2つ
めは、千葉大学発のベンチャーとして地域創生や活性
化に貢献できること。ご存じのように、2019年の房
総半島台風で、千葉県では大規模な停電が起きました。
こうした災害が起きたときに、発電施設や小型EVを活
用することで、地域の電力や移動手段を提供できるよ
うにする取り組みにも力を入れています。3つめは、私
の研究分野が公共政策だったため、制度設計や政策
提言といった発信ができること。最近では、農林水産
省の有識者会議のメンバーも務めさせていただいて
います。そして4つめは、自社事業として営農型太陽
光発電を運営しており、当事者としてのノウハウを蓄積
していることです。これは、営農型太陽光発電を始める
事業者のサポートをするうえで、大きなアドバンテージ
となっています。

—営農型太陽光発電に行き着いた経緯を教えてください。

馬上 従来の太陽光発電は、山林を削るなど環境に

負荷をかけるものも多く、徐々に限界が見えてきてい
ました。そんななかで、設立から1年ほど経ったときに、
たまたま千葉市内で営農型太陽光発電に取り組み
られている方と出会いました。この方法なら、太陽光で
発電した電力を施設や農機具の電力として使えます。
農業については経験も知識もゼロでしたが、この方法で
農業が可能なのかを自ら確かめたいと思い、営農型太陽
光発電に参入しました。2016年に、匝瑳市に「匝瑳飯塚
SolaShare 1号機」を、2018年には千葉市に「千葉
市大木戸アグリ・エナジー1号機」を開設し、育てた作
物は販売もしています。こうした取り組みはまだまだ
社会的にあまり認知されていませんが、これから本格
化するスマート農業との親和性も高く、事業としての
伸びしろは大きいと考えています。

グローバルに活躍したいなら 学位の重要性も知っておいてほしい

—学生時代の思い出を教えてください。

馬上 大学2年のときに、所属していたゼミの倉阪秀
史先生の主導で発足した千葉大学環境ISO学生委員
会に参加したことが印象に残っています。最初期メン
バーとして、委員会の仕組みをつくったり、大学の教員
や職員、関係業者の皆さんと様々な折衝をしたり、今
になって考えるとベンチャーの創業者に通じるような
ことをしていて、自分にとって基盤になっているのか
と感じています。

—最後に、学生へのメッセージをお願いします。

馬上 私は東日本大震災をきっかけに起業への道を
歩み始めましたが、皆さんは今、コロナ禍という事態
に直面しています。これは、世の中の価値観がガラリと
変わるという稀有な経験をしているということに他な
りません。しっかりと自分を見つめて、これから何を
やるべきかを考える機会だという前向きな気持ちで頑
張ってください。

また、学位の重要性を認識してほしいと思います。学
位を取得するというのは、理系文系を問わず専門性が
担保され、自らの可能性を広げることにつながります。
私自身、海外のクライアントと会う際に、博士号を持
っていることで信頼されるケースが少なくありません。
千葉大学はグローバル人材の育成に力を入れています
が、世界を相手にするならば、英語だけでなく学位も強
力な武器になることを知っておいてください。

この取組は、「持続可能な社会の実現」に貢献し、地域活性化を促進し、農産物の生産から消費までのサプライチェーンを短縮し、食料の安定供給を実現することを目指しています。千葉エコ・エネルギー株式会社は、株式会社リバーエナジーが共同出資し、自営型太陽光発電施設を運営しています。

ここで育った電力は、緑化資材を生産した農業用で、災害時でも地域内で活用可能な移動手段や、移動型充電設備の導入促進などに活用します。

千葉エコ・エネルギー株式会社
代表取締役 馬上丈司

以前は売電専用の設備しかなかったが、電気の自家消費や地域の中での消費ができる設備も新設。EVへの充電もこの設備で行う。

世の中の実現を目指す
社会的弱者が生きやすい



後藤 弘子(ごとう・ひろこ)

千葉大学大学院社会科学研究院教授。慶應義塾大学法学部卒業。立教大学法学部助手、富士短期大学・東京富士大学経営学部助教授を経て、2004年4月より現職。NPO法人子どもセンター帆希理事長、認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウ副理事長。

刑事法の研究者として、少年法や性犯罪、ジェンダー問題など、弱者の側に立った教育・研究、さらには法改正に向けた提言にも取り組んでいる後藤弘子教授。その研究成果や授業の内容などについて話を伺いました。

研究テーマについて教えてください

私の専門は刑事法で、特にジェンダー問題と少年法の2つを軸に研究を行っています。女性や若年者は社会的に弱い立場で、性犯罪やDV、虐待といった被害が絶えないことが課題になっています。こうした事態は起きないに越したことはありませんが、万一起ってしまったときには、法によって適切な救済が行われるべきです。私は、女性や子どもといった弱い立場の人の声を代弁し、政府や裁判所に聞いてもらえる形にして発信し、世の中をより良くしていくのが自分の役目だと思っています。そのため、法務省の検討会議や内閣府の男女共同参画局の専門委員会などの場で、自分の研究成果に基づいた様々な提言もしています。

講座の授業内容について教えてください

私が担当している「刑事政策演習」では、そのときどきで社会的な影響力が高かったり話題になったりしているテーマを扱います。また、レポートにまとめて終わりにするのではなく、何らかの形でアウトプットすることも重視しています。例えば、少年院法が2015年に改正されましたが、それに先立ち学生たちが「私たちの少年院法」をつくり、法務省矯正局の係官にも見ていただきました。性犯罪の刑法改正議論が高まった2021年には、学生主導で性的同意に関するアンケートを学内で実施し、報告書に取りまとめました。こうした取り組みを通じて、学生たちには社会的弱者のために法律を役立てるという視点を持ってほしいと思っています。

また、千葉大学は県内唯一のロースクールとして、千葉県弁護士会や千葉地検、地方裁判所、家庭裁判所との連携が強いという強みがあります。憲法週間にはこうした各団体から講師に来ていただいたり、学生がボランティアに参加したりと、法について学びたい学生にとっては良い環境が整っていると思います。

弱者の側に立つという考えの基礎になっているのは何でしょう

高校時代に母校出身の弁護士さんの話を聞く機会があり、冤罪事件について知りました。私たちは司法が正しいという前提で日々を送っていますが、司法が過ちを犯すこともあると、そのとき初めて意識しました。冤罪に巻き込まれた人というのは、制度が生んだ弱者です。社会的に弱い人の側に立つ仕事に興味を持ったのはこれがきっかけでした。

その影響もあって大学は法学部に進み、そこで女性犯罪というテーマに出会います。3年生でゼミを選ぶ際には、中谷さん(中谷 瑾子先生)という女性研究者のゼミを取りま

した。当時は、刑法の分野で女性研究者は少なかったのですが、中谷先生は結婚して子どもを育てながら研究職を続けられていて、ロールモデルとして惹かれたのが理由です。

ちょうど中谷先生が女性犯罪研究会という活動を立ち上げて、女性の被害だけでなく加害についても研究されていました。私もその研究会に関わるなかで、女性が犯罪を起こす心理や社会の仕組みといったことに対する関心が強くなり、それが今の研究につながっています。

学生へのメッセージをお願いします

私が担当する普遍科目「ジェンダーを考える」では、ジェンダー問題を通して多様性について学んでいます。他者との違いを優劣ではなく多様性と捉え、お互いに尊重し合えば、弱者にとっても生きやすい世の中になるはず。皆さん自身も多様性の一部だということを意識して大学生活を送ってください。



学生主導で実施した性的同意に関するアンケートは、今後、内閣府や関係機関への政策に活かされることが期待されている

AWARD

NEDO TCP 2021 最終審査会で、 千葉大学チーム"Tomocloud"が最優秀賞を受賞!

2022年2月8日に開催された国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)主催の「NEDO TCP(Technology Commercialization Program) 2021」最終審査会において、Tomocloud(代表者: 大学院融合理工学府博士前期課程2年小川良磨さん)が最優秀賞を受賞しました。

最終審査では、130名強の投資家・事業会社などに向けて自身のビジネスプランのプレゼンテーションを行い、資金調達や事業提携に向けたアピールを行いました。同チームは、電気インピーダンストモグラフィー(EIT)法を用いて、



「NEDO TCP 2021」最終審査会の様子

従来の医薬品や医療機器では対応しきれなかったリンパ浮腫を早期発見・診断を行う『LTモニタ』を開発中であり、今後もNEDOの継続的な支援を受けながら開発・社会実装を進めていきます。

同チームは、本学のアントレプレナーシップ教育の一つとして2021年8月に行われた「第19回なのはなコンペ2021」にて、演習などを通じて事業化スキルを身につけ、最終審査では「なのはな賞」「サーマズ賞」「三井住友銀行賞」をトリプル受賞しています。学内コンペ受賞者が学外においても高く評価された嬉しい結果となりました。

INFORMATION

横浜国立大学と相互の連携・ 協力に関する協定を締結

千葉大学と横浜国立大学は、両大学の特色を活かした交流を図り、学術研究および教育等において連携を推進し、一層の発展に資することを目的として、2021年12月23日付で協定を締結しました。

東京湾を挟んでアクアラインで繋がる国立大学同士として、防災・減災や環境保全での連携を開始しており、今後もあらゆる学術研究、教育、地域貢献などに関して、さらなる連携や協力の可能性を探っていきます。



梅原出横浜国立大学学長(左)と中山俊憲千葉大学学長(右)

HOSPITAL

塩野義製薬と共同研究部門 「ヒト粘膜ワクチン学部門」 を設置

2022年4月、医学部附属病院は塩野義製薬株式会社と粘膜免疫誘導型ワクチンの研究開発を推進する共同研究部門「ヒト粘膜ワクチン学部門」を設置し、ワクチンによる免疫誘導メカニズムの理解促進、臨床応用の促進、人材育成に取り組めます。



左から木山 上席執行役員/医薬研究本部長(塩野義製薬)、手代木 代表取締役社長(同左)、中山 学長、横手 病院長、中島 大学院医学研究院教授

設置期間は5年を予定しており、注射型ワクチンが有する「発症や重症化を防ぐ効果」に加えて「病原体の侵入そのものを防ぐ効果」も有する粘膜免疫誘導型ワクチンの開発を目指します。

EVENT

第1回なのはなコンペ(アドバンスコース)2021を開催

学術研究・イノベーション推進機構(IMO)は、「第1回なのはなコンペ(アドバンスコース)2021」を開催し、2022年1月27日に最終審査と表彰式を行いました。

本コンペは2003年より毎年千葉大学で開催しているアントレプレナー教育支援コンペ「なのはなコンペ」を、現役研究者向けにコーディネートして新たに実施したもので、最優秀賞、優秀賞に加え後援企業による特別賞も多数出され、受賞者のモチベーションも高まりました。参加者にはIMOが引き続き起業に向けたフォローアップを行っています。



それぞれ受賞した賞を掲げる参加者と千葉大学および後援企業の審査員

EVENT

6年間の集大成! 創作狂言 「里見八犬伝」、遂にファイナル

2022年1月8日、普遍教育教養展開科目「伝統文化をつくる」(2009年度より開講)が携わる創作狂言「里見八犬伝 最終章(ファイナル)」(公益財団法人千葉県文化振興財団主催)が青葉の森芸術文化ホールにて上演され、大盛況で幕を閉じました。

本授業は、狂言師の指導のもと、学生が狂言について学ぶとともに、舞台出演、小道具や衣装制作、広報活動などを行うもので、2016年度からは『南総里見八犬伝』を原作としたシリーズを上演、今回はその完結編でした。来年度以降も授業・公演を続けていく予定です。

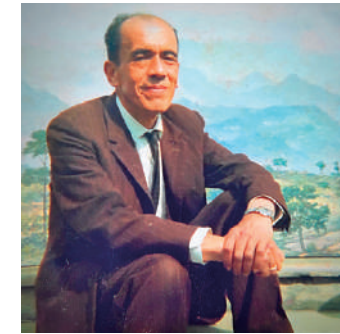


当日の舞台の様子

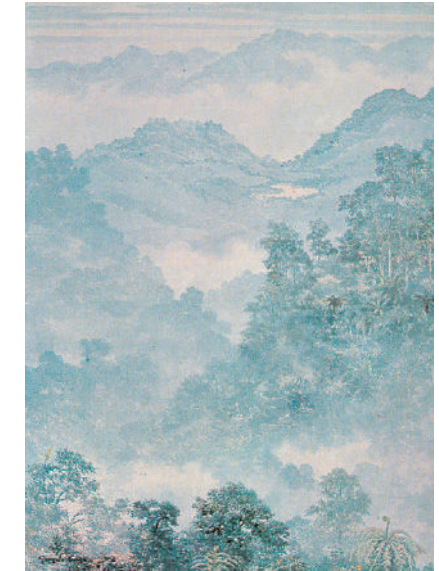
もっと
知りたい
千葉大学

東京高等工芸学校で学んだ コロンビアの有名画家

コロンビアの著名な風景画家ゴンサロ・アリサ氏(Gonzalo Ariza: 1912~95年)は、1936年頃に工学部の前身である東京高等工芸学校に留学生として半年ほど在籍し、そこで写真や印刷を学びました。茶道や陶芸にも深い関心を寄せたほか、日本の自然観を踏まえた絵画技術を修め、懇意となった藤田嗣治とも交流を深めたそうです。1955年には駐日コロンビア大使館の文化担当一等書記として再来日し、東京で個展を開くなど、日本との文化交流にも貢献しています。(大学院国際学術研究院 見城 梯治)



ゴンサロ・アリサ氏
(ご長男Francisco 氏 提供)



ゴンサロ・アリサ氏の作品『コロンビア熱帯草原』
(日本コロンビア友好協会 森 和重氏 提供)

OBOG
MESSAGE

つぎの「うれしい!」への新たな挑戦 京葉ガス株式会社 結束 重則さん

千葉大学の思い出

学生時代はサークル、アルバイト、課題、研究と日々奮闘していました。学業の課題が多く、仲間たちと試行錯誤しながら日々意見を取り交わしていたことが、今の業務に役立っています。その同期やサークルメンバーとは今でも連絡を取り合う仲で、お互いに良い刺激を与えています。このような人脈を作ることができ、千葉大学に入って良かったなと強く感じます。

現在の仕事について

当社は千葉県北西部に都市ガスを安心安全に供給することがメインの事業でしたが、近年のエネルギー自由化や2050年カーボンニュートラル宣言など当社を取り巻く環境が大きく変わり、中長期経営計画においてガス事業で培った強みを活かし、複数の事業に取り組む方向性を示しました。その中で、私の主な仕事は、法人のお客さまが抱える課題に対して様々なソリューション提案を行うためのスキーム

作りです。以前はガス空調システムがメイン商材でしたが、お客さまが抱える課題を解決するためにガス以外のエネルギー商材(太陽光発電設備や蓄電池、LED照明等)からファイナンス商材まで幅広く取り扱うようになりました。お客さまの課題と当社からの提案がマッチし、お客さまから感謝された時はこの上ないやりがいを感じます。このように多くのことにチャレンジができ、若手が積極的に意見を述べる環境にあることを嬉しく思います。

学生へのメッセージ

当社では新規事業を積極的に行う中、多くの若手社員が活躍しており、学生時代に培った経験を活かす場が多くあります。また、当社には現社長を始め千葉大学OB・OGが多数在籍しています。皆さまと一緒に働ける日を楽しみにしています。私たちとともに千葉県の成長・発展を一緒に考えていただける方をお待ちしています。



お客さまの現場で調査する様子



結束 重則(けつそく・しげのり)
法人営業部 イノベーションセンター エネルギーサービスグループ
2014年 工学部 都市環境システム学科卒業
2014年 入社、2017年より現職

京葉ガス株式会社

<https://www.keiyogas.co.jp/>



京葉ガスは千葉県北西部において、都市ガスの製造・供給をはじめ熱・電気を含むエネルギーのソリューション提案などを行い、地域のライフラインを支え続けるという使命を背負いながら、社会の発展に貢献しています。今後は、これまでのガス・電気を中心としたエネルギー事業を基盤に、お客さまの生活全般にわたりサービスを提供していく「総合生活産業事業者」へ進化することを目指しています。

創業年: 1927年1月
代表取締役社長: 羽生 弘(1979年工学部卒業)



CHIBA TOMO NEWS

千葉大学マスコット「ニシ」、「イノ」、「マツ」より
ニュースをお届けします！

vol.08

CHIBA TOMOものがたり 12時限



ニシ 春の花と言えば桜。キャンパス内の桜並木がすごくきれいだよ!
イノ 春の花と言えば菜の花。菜の花のおひたしも大好き!
マツ 春の花と言えばチューリップ。実家の花屋でも大人気なんだ!

CHIBA TOMOとは...
2019年に千葉大学に誕生した、3つのキャンパスをかたどったマスコット、うさぎの「ニシ」、かめの「イノ」、さいの「マツ」の3人組。

予防医学センターとコラボ!

みんなで Let's ロコモチェック!

「運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態」をロコモティブシンドロームと言い、「ロコモ」はその略称です。
お年寄りだけでなく、子どもや若い人にも増えています。
ニシ・イノ・マツが挑戦した子どもロコモ簡単チェックを皆さんもやってみませんか?

1 体のバランスチェック
両手を広げて、5秒以上片足立ち。左右両方やってみよう。
おっとと... バランス感覚には自信があるよ!

2 下半身の柔軟性チェック
腕を前に出して、足の裏を床につけてゆっくりしゃがんでキープ。
これはボク得意だよ! 5秒くらいかけてゆっくりしゃがんでね!

3 上半身の柔軟性チェック
両手をまっすぐ上にあげてキープ。垂直にしっかりあがるかな?
顔が大きくてまっすぐ上がらないな〜 のび〜!

4 肩甲骨と股関節の柔軟性チェック
膝を伸ばしたままゆっくり前屈。指先が楽に床につくかな?
うん〜

◀二次元コードを読み取ると、ニシ・イノ・マツの子どもロコモ簡単チェックの様子を動画で視聴することができます。(3月25日18時以降〜4月16日公開予定)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、外出の自粛により運動不足になりがちです。体を動かして心もリフレッシュしましょう!



予防医学センター長 森 千里 教授

千葉大学基金はチャレンジを支え、
人の未来を育てる基金です



● 継続的なご支援に感謝! 「サンクスプレート」を工学部15号棟講義室に設置

住友重機械工業株式会社から教育研究環境充実のため継続的な支援を受けることになったことへの感謝の意を表し、工学部15号館109号室を「SHI Lecture Room109」と命名し、このたびプレートを設置しました。

命名権の付与は西千葉キャンパスでは初めてで、期間は2024年12月までとなっています。

千葉大学基金 サンクスプレート制度

企業・法人様より千葉大学基金に寄付をいただいた際に、本学からの謝意として、講義室等に別称を命名することができる制度です。



企業紹介ボードの前に立つ、住友重機械工業技術研究所の牧野史紀所長(左)と佐藤之彦工学部長(右)

● 来る未曾有の災害に備えた災害治療学研究を推進



災害治療学研究所 三木 隆司 所長

災害治療学研究所は、自然災害の予測、対策、復興を目指した「災害レジリエントな社会」を構築することを目標に、日本の災害研究施設として千葉大学内に発足しました。災害によって生じる健康被害の病態解析と解決法の研究は大きく遅れており、早急な対応が必要です。自然災害は地球温暖化による気候変動により今後ますます増加することが懸念されています。

私たちは「社会実装」という形で現場へ一日も早く研究結果を還元できるように、様々なステークホルダーとの連携を深め、学際的な研究を力強く推進していきます。

ぜひとも皆様からのご支援をお願いします。



▲ 災害治療学研究所 ホームページ

🗳️ 税制上の優遇措置

個人からのご寄付で寄付金が2,000円を超える場合は、確定申告を行うことにより税制上の優遇措置を受けることができます(※1)。

	修学支援金 若手研究者支援金 へのご寄付	左記以外のご寄付
所得税	「所得控除」または「税額控除」を選択できます。	「所得控除」を受けられます。
住民税	お住いの都道府県・市町村によっては「税額控除」を受けられます(※2)。	

- 所得税の「所得控除」について
寄付金額から2,000円を差し引いた額が総所得から控除されます。
- 所得税の「税額控除」について
寄付金額から2,000円を差し引いた額の40%が税額から控除されます。

※1 控除の対象となる寄付金額、および税額控除額には上限があります。詳しくは、基金のホームページに分かりやすく解説しておりますので、ご参照願います。お電話でもご質問も大歓迎です。
※2 住民税の税額控除が受けられるかどうかは、都道府県・市町村が定める条例によって異なります。詳しくは、お住いの都道府県・市町村にお問い合わせ願います。

お問い合わせ先 **千葉大学基金室** メール kikin@office.chiba-u.jp

☎ **043-290-2014** ホームページ <https://kikin.chiba-u.ac.jp> 千葉大学基金

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。 住 所 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33



INDEX VOL.59

02 [対談] 千葉大学特別栄誉教授 藤田 誠 × 千葉大学長 中山 俊憲 これからの時代を担う学生の皆さんに伝えたいこと

千葉大学OBであり、ノーベル化学賞の有力候補の一人でもある藤田教授をゲストに迎え、中山学長と研究や留学について語り合っていました。



06 学生生活サポートマップ 2022

新入生応援！西千葉キャンパスでの学生生活をサポートする施設やウェブサイトを紹介します。



08 千葉大学 OBOG インタビュー

日本で初めて公共学の博士号を取得したOBが登場！
営農型太陽光発電でベンチャー企業を立ち上げた理由とは？



10 研究室訪問

刑事法の研究を通じて社会的弱者が生きやすい社会を目指す
— 千葉大学 大学院社会科学研究院 法学研究部門 公法学講座
後藤 弘子 教授 —



12 TOPICS / もっと知りたい千葉大学

14 CHIBA TOMO NEWS

**ちばだい
プレス** CHIBADAI
PRESS
千葉大学
広報誌

編集・発行 / 千葉大学 広報室

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

TEL: 043-251-1111(代表) E-mail: koho-hp@office.chiba-u.jp

ご意見・ご感想をお寄せください

www.chiba-u.ac.jp

[表紙 (左から)]

藤田 誠 (ふじた・まこと)
千葉大学特別栄誉教授 /
東京大学大学院工学系研究科教授

中山 俊憲 (なかやま・としのり)
千葉大学長



今号の特集では、千葉大学OBでありノーベル化学賞の有力候補の一人でもある藤田誠千葉大学特別栄誉教授が登場。これからの時代を担う学生の皆さんに伝えたいことをテーマに、中山俊憲学長と語り合っていました。研究の魅力を出産や子育てに例えたり、若手研究者時代に海外の教授の言葉をきっかけに失いかけていた自信を取り戻したり…。超一流の世界的研究者が、少し身近に感じられるかもしれません。(撮影:西千葉キャンパス)